

レビュー項目 (事業名)	コワーキングスペースにおける起業家交流環境の強化 (コワーキングスペース開設支援事業)				部(局)	産業労働部				
					所管課	新産業課				
					担当班	新産業創造班				
					連絡先	078-362-4156				
開始年度	令和元年度	終了年度	令和9年度	関連計画等	兵庫県地域創生戦略、ひょうごビジョン2050					
事業区分	☐ 国補助事業 ☒ 県単独事業									
実施方法	☐ 直執行 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ その他()				実施主体等	民間事業者				
事業目的	地域における起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースの開設を支援									
事業概要	県内対象地域で新たにコワーキングスペースを開設する事業者に対し、施設の立上げに必要な経費を補助 [補助内容] 運営支援型：賃借料、通信回線使用料、事務機器取得費等 補助対象経費の1/2以内（県 1/4、市町 1/4） 整備支援型：建物改修費、事務機器取得費 補助対象経費の1/2以内（県 1/4、市町 1/4） ※空き家活用の場合、改修費に対して別途100万円を上限に加算									
業務フロー	補助 (1/2以内(県1/4、市町1/4)) 県 → 事業者									
R4レビュー時の 外部委員会意見	・ 真の意味での“コ”ワーキングスペースを作るためには、アクセラレーター、ネットワーカー等の人材が必要であることから、人材を見つけ配置することが必要である。 ・ コワーキングスペースとなっているかは、その中での仕事の発生数が指標の一つになるのではないかと。 例えば、利用者間で仕事掲示板を作成し、そこで何件仕事の依頼があったかを指標にしてはどうか。 ・ 市町との連携事業なので、市町と相談してその地域のコワーキングスペースのテーマや特色を設定してみてもどうか。 ・ 今の公募条件では、一度採択されると努力するモチベーションにつながらないため、仕事掲示数の目標達成率等、成果指標の達成具合に応じた成功報酬を払う等の公募条件の見直しをしてはどうか。									
改善結果 改善状況 取組過程	・ 特色ある取組みの報告を必須化し、会員・会員外の交流イベントや起業支援への取組みを実施するよう促進した ・ 利用者数など現状と課題を整理し、どのように改善を図っていくのか今後の展望を自己設定させ、報告を必須とすることで事業者が努力する仕掛けを設定									
事業に要するコスト	区 分		4 年度決算額		5 年度決算額		6 年度当初予算額		7 年度当初予算額	
	事業費①		14,641 千円		10,588 千円		13,795 千円		2,700 千円	
	経費内訳	報酬・賃金	3 千円		28 千円		0 千円		0 千円	
		委託料	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		補助金・交付金	14,610 千円		10,560 千円		13,705 千円		2,700 千円	
		貸付金	0 千円		0 千円		0 千円		0 千円	
		その他	28 千円		0 千円		90 千円		0 千円	
	(財源内訳)	(国庫)	(10,824千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(特定)	(119千円)		(9,812千円)		(13,795千円)		(2,700千円)	
		(起債)	(0千円)		(0千円)		(0千円)		(0千円)	
		(一般財源)	(3,698千円)		(776千円)		(0千円)		(0千円)	
	予算額② ※精算補正前の予算を記載		25,591 千円		23,838 千円		13,795 千円		2,700 千円	
	執行率((①/②)×100)		57.2%		44.4%		100.0%		100.0%	
	人件費③ (a+b+c)		従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.5人	従事人員	0.1人
			4,129 千円		4,228 千円		4,360 千円		900 千円	
	職員給与費 a		3,568 千円		3,578 千円		3,800 千円		770 千円	
	賞与引当金繰入額 b		292 千円		400 千円		292 千円		80 千円	
退職手当引当金繰入額 c		269 千円		250 千円		269 千円		50 千円		
総コスト(①+③)		18,770 千円		14,816 千円		18,155 千円		3,600 千円		

レビューシート（令和4年度レビュー対象事業：フォローアップ型）

様式3

	指標名	区 分	4年度実績	5年度実績	6年度見込	7年度目標	最終目標【年度】	
評価	成果指標(アウトカム指標①)	目 標	1,430	2,030	2,190	—	—	
		実 績（見 込）	1,830	1,992	(2,190)	—		
		(単位当たりコスト)	(10 千円)	(7 千円)	(8 千円)	—		
	しごと創出数(事業活用企業の雇用人数)※H25以降の累計	達成率（見 込）	128.0%	98.1%	(100.0%)	—		
		目 標						
		実 績（見 込）						
	成果指標(アウトカム指標②)	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見 込）	—	—	—	—		
		目 標						
	成果指標(アウトカム指標③)	実 績（見 込）						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見 込）	—	—	—	—		
指標	活動指標(アウトプット指標①)	目 標	8	8	5	—	—	
		実 績（見 込）	4	6	(4)	—		
		(単位当たりコスト)	(4,692 千円)	(2,469 千円)	(4,539 千円)	—		
	コワーキングスペース開設支援件数(兵庫県地域創生戦略)	達成率（見 込）	50.0%	75.0%	(80.0%)	—		
		目 標						
		実 績（見 込）						
	活動指標(アウトプット指標②)	(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見 込）	—	—	—	—		
		目 標						
	活動指標(アウトプット指標③)	実 績（見 込）						
		(単位当たりコスト)	—	—	—	—		
		達成率（見 込）	—	—	—	—		
目標	終期設定	○有（令和6年度：新規採択終了、令和9年度：運営支援終了） ・ 無						
	改善基準							
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)			
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		県内でのコワーキングスペース開設の需要は対応できた。		B ： ほ ぼ 満 足 の い く 実 施 状 況	・コワーキングスペースの開設の需要は概ね目標達成し、令和6年度で新規採択を終了した。 ・さらにコワーキングスペースを活性化させ、起業家のさらなる成長を促すには、起業家同士の交流やつながりの場が不可欠であり、つながりを作り共創できる場を提供する。		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		R3年度から市町随伴制度とするなど見直しを図っている。					
	課題・今後の方向性 □ 改善 □ 他事業と統合 □ その他							
評価	説明 「コワーキングネットワーク会議」を開催し、共創や連携に向けた具体的な取組みを考えるグループワークを通じて、既存施設間の連携や共創の強化を目指す。							
外部委員会意見	○委員会の意見を踏まえ、事業者の努力を促す仕掛けとして、特色ある取組の報告や今後の展望の自己設定・報告を必須化したことは、事業改善への積極的な姿勢として高く評価される。 ○また、既存施設間の連携や共創を促進する「コワーキングネットワーク会議」の開催は、単なる施設整備にとどまらず、起業家同士の交流・協働の場づくりに向けた有意義な取組である。 ○今後は、地域ごとの特色を活かしたテーマ設定や、利用者間の仕事創出の可視化など、より実効性の高い成果指標の導入を通じて、コワーキングスペースの価値向上と持続的な活性化を図られたい。							